



2017年12月21日
 発信元：三重化学工業株式会社

〒515-0001 三重県松阪市大口町 262 番地
 TEL：0598-51-2361 FAX：0598-51-1143
 URL：http://www.miekagaku.co.jp

医療分野参入 10 年目で新ブランド「メディアン」を立ち上げ宣言
 ～松阪市ハンズオン支援事業採択で医療分野強化～

新ブランド

メディアン
medi-an

メディカル
 +
 罨法 (あんぼう)
 安心 (あんしん)
 安全 (あんぜん)

1956年設立の保冷剤の老舗メーカー：三重化学工業株式会社は、2006年、三重県の「みえメディカルバレープロジェクト」に参加し、医療機器の製造業、製造販売業の認可を受け、リハビリ用温熱パック「ホットパック -mie」の製造販売を期に医療分野に参入して来た。2017年6月、松阪市の中小企業ハンズオン支援事業者として採択され、支援事業の中でブランディングを学び、医療分野参入10年を期に、2017年11月、医療機器ブランド「メディアン」を立ち上げた。「メディアン」とは、メディカル+罨法 (あんぼう)、安心 (あんしん)、安全 (あんぜん) 商品には、業界初のホールドアシストゲルを使った急性期冷却剤「アイシングフィットG」や「くるっとクール」などがある。

三重化学工業株式会社（代表取締役社長：山川大輔）は、1956年（昭和31年）の創業以来、保冷剤の老舗メーカーとして、同社の保冷剤「スノーパック」が洋菓子や精肉、魚介類のテイクアウトや輸送などに貢献して来た。他にも作業用手袋の「ミエローブ」、大手製薬メーカーの氷枕等、保冷具のOEM生産、そして、2006年からは医療機器の製造販売をおこなって来た。

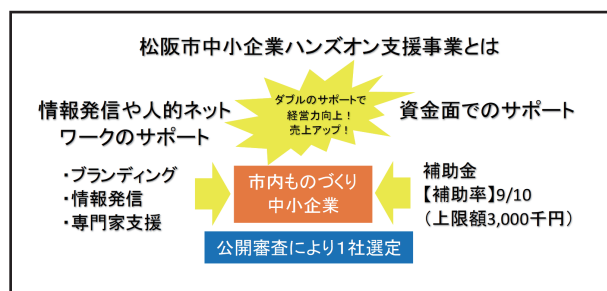
三重化学工業は看護師不足と言われる今日、看護・介護従事者の業務負担の軽減や業務の効率化による看護の質を高めることや輸入超過の医療機器は日本人のサイズに合致していない状況を考慮し、大学との産学連携や医工連携にも注力しており、医療現場のニーズから、患者様にとって効果的な商品であることは当然とし、形状や温度、持続時間、使いやすさなどにこだわり、日本製で手作りの医療機器の開発・上市など、医療分野に挑戦して来た。しかしながら医療分野への参入は想像以上に厳しい状況であった。



(至学館大学を訪問した竹上市長と山川社長)

平成29年度 松阪市中小企業ハンズオン支援対象事業者の採択を受け、補助金の中から医療・介護・スポーツ関連の展示会等への出展、近畿大学医学部との産学連携による共同開発を2件スタートした。ブランディング講習もおこない、その中で医療分野のブランドを立ち上げた。松阪市の支援は補助金だけでなく、企業間マッチングや松阪市出身の女子プロゴルファー：鈴木麻綾選手や、女子レスリング金メダリスト：土性沙羅選手にも同社の「アイシングフィットG」や「くるっとクール」を寄贈した。

代表取締役社長 山川大輔は「ハンズオン支援事業の中でブランディングを学ぶことができ、医療分野のブランドを立ち上げることができた。支援を受けたことを更なる医療分野の強化につなげて行きたい」と強く話す。



この件に関するお問い合わせは三重化学工業株式会社の宮下祐介 (みやした・ゆうすけ) までお願いします。
 TEL：0598-51-2361(事務所) 080-1613-7937(携帯) E-mail：miyashita@miekagaku.co.jp